



「健康スポーツ文化都市」の野田市は令和7年で75周年を迎えます



NODACITY 75th ANNIVERSARY
1950-2025

野田市制施行
75周年
記念式典

令和7年5月3日(土)
野田ガスホール(文化会館)

ご挨拶



本日、野田市制施行 75 周年記念式典を挙げるに当たり、主催者を代表し、式典にご臨席の皆様、市民の皆様に対しまして、心より厚く御礼を申し上げます。

野田市は、昭和 25 年 5 月 3 日に、野田町、旭村、梅郷村、七福村の 1 町 3 村が合併して県下 8 番目の市として人口約 4 万人でスタートいたしました。さらに、昭和 32 年に川間村、福田村の両村を編入するとともに、平成 15 年 6 月 6 日に関宿町と合併し、現在は人口約 15 万 3 千人となりました。

この度、令和 7 年 5 月 3 日に 75 周年を迎えることができ、この節目となる年を皆様と共に祝いできることを大変うれしく思っております。

今年はこれまでの野田市の歩みを振り返るとともに、次の 100 周年という大きな節目に向かって、市民の皆様と新たな一歩を踏み出す「スタートの年」といたします。

新たな一歩を踏み出すスタートとして、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、全ての皆様にご参加いただけるような記念事業を実施してまいります。

ここにあらためて、野田市の歴史を再認識し、先人の努力や功績に思いを馳せるとともに、市民の皆様を始め、関係機関の皆様と共に、野田市が目指す「夢のある住みよいまち」「元気で明るい家庭を築けるまち」の実現のため、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 7 年 5 月 3 日

野田市長 鈴木 有



野田市は、千葉県北西部に位置し、関東平野のほぼ中央にあり、周辺を利根川、江戸川、利根運河に囲まれた自然豊かなまちです。歴史をさかのぼると、北部の関宿地域は、利根川、江戸川の水上交通の発展により栄えた関宿藩の城下町として、南部の野田地域は、江戸の食文化を支えた醤油醸造業を中心に発展してきました。それぞれの地域には、当時の歴史や伝統を伝える史跡や建物などがあります。

歴史に名を残した偉人では、先の大戦を終戦に導いた内閣総理大臣の鈴木貫太郎や、十三世名人で「近代将棋の父」といわれている関根金次郎などを輩出しています。東京から近距離にありながら、新旧のバランスがよく調和しながら発展してきた野田市は、今も自然と歴史、文化、伝統が息づいています。

1950-2025

NODACITY 75TH ANNIVERSARY

野田市制施行75周年記念式典

式次第

市立第一中学校吹奏楽部による演奏 10時10分～



第一中学校吹奏楽部は、全国大会出場を目標に、挨拶や返事などの基本的な姿勢や基礎練習を大事に取り組んでいます。

吹奏楽の大会では、マーチングバンド全国大会に3年連続出場しています。

1曲目 The Day

2曲目 悠久の国～日本～

記念式典 10時30分～

- 1 開式のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 市歌斉唱 (市内小中学校 31校の代表者)
- 4 市民憲章唱和 (市内小中学校 31校の代表者)
- 5 記念映像上映「野田市の75年の歩み」
- 6 市長式辞
- 7 議長挨拶
- 8 特別功労表彰
- 9 来賓祝辞
- 10 来賓紹介
- 11 祝電披露
- 12 閉式のことば



野田市制施行 75 周年特別功労表彰者

市制施行 75 周年を迎えるに当たり、本市の発展にご尽力いただきました方々に対し、感謝の意を表するとともに、その功績を讃え、表彰いたします。

※名簿は五十音順となっています

秋山 咲智子（あきやま さちこ）

平成 12 年 5 月から現在に至るまで野田市赤十字奉仕団で福田分団長や委員長、顧問を歴任し、平成 18 年から現在に至るまで保護司に就任され、他にも福田地区社会福祉協議会事務次長、防災会議委員、消防委員会委員に就任されるなど、長年に渡り地域福祉の向上に大きく貢献されています。

飯野 きみ子（いいの きみこ）

平成 16 年 12 月に保護司に就任し、野田地区保護司会会長や平成 23 年には、国の「保護司制度の基盤整備に関する検討会」委員も歴任され、平成 31 年 4 月からは保護司会顧問及び更生保護女性会会長に就任されるなど、永きに渡り社会奉仕の精神をもって更生保護活動による地域福祉の向上に大きく貢献されています。

宇佐見 節子（うさみ せつこ）

平成 6 年から 20 年間にわたり野田市母子寡婦福祉会長、千葉県母子寡婦福祉連合会理事長、全国母子寡婦福祉団体協議会理事等を歴任され、ひとり親家庭の自立促進の推進に尽力されました。また、昭和 58 年から平成 19 年まで民生委員児童委員として地域社会に大きく貢献されています。

内山 久雄（うちやま ひさお）

平成 10 年 10 月から 5 期にわたり、野田市総合計画審議会会長を務められたほか、平成 7 年 11 月から 15 期にわたり、野田市自転車等駐車対策等協議会委員を務められ、平成 14 年 11 月以降は同協議会会長を、また、平成 27 年 10 月から現在に至るまで野田市まち・ひと・しごと創生専門委員会議長を務められるなど、本市の市政の発展に大きく貢献されています。

加藤 満子（かとう みつこ）

平成 17 年 6 月から現在に至るまで野田市障がい者団体連絡会代表を、平成 19 年 6 月から現在に至るまで野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会会長と副会長を歴任され、障がいのある人の自立の支援や社会参加の促進のために活躍されるなど、障がい福祉の向上に大きく貢献されています。



1950-2025

NODACITY 75TH ANNIVERSARY

野田市制施行75周年記念式典

黒川 浩（くろかわ ひろし）

野田市教育長や千葉県スポーツ振興審議会委員を務めた後に、平成14年から27年まで野田市体育協会（現・スポーツ協会）会長を務められ、市のスポーツ振興に尽力され、平成28年からは顧問として助言や指導を行うなど、市のスポーツの発展に大きく貢献されています。

下津谷 達男（しもつや たつお）

平成2年から現在に至るまで野田市文化財保護審議会委員長を、また、平成元年から現在に至るまで市史編さん委員会委員を務められており、文化財の保存、活用及び市史の編さんに力を尽くされており、講演活動等を通じて市民の文化振興に大きく貢献されています。

須賀田 貞彦（すがた さだひこ）

平成26年4月から現在に至るまで野田市いきいきクラブ連合会会長に就任され、千葉県老人クラブ連合会理事長、野田市ゲール協会、野田市ゲートボール協会、野田市パークゴルフ協会、野田レクリエーション協会の各会長や野田市グラウンド・ゴルフ協会副会長を歴任されるなど、高齢者福祉の向上やスポーツ振興に大きく貢献されています。

高梨 兵左衛門（たかなし ひょうざえもん）

平成13年から令和元年までの18年間、野田商工会議所会頭として、また、現在は野田商工会議所名誉会頭として、永きにわたり市の商工業の振興に尽力されました。さらに、平成10年から平成30年まで野田市文化団体協議会会長として、市の文化振興に尽力されるなど、市政の発展、振興に大きく貢献されています。

根本 暁（ねもと あきら）

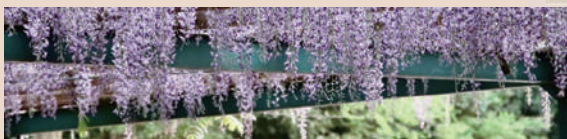
野田市内で内科医院を開業し、地域医療に貢献されています。令和3年11月に「強度行動障がいのある人のためのグループホーム建設に役立ててほしい」と、市に多額の寄附をされたほか、令和6年1月には「一人でも多くの方の命を救うことに役立ててほしい」と、40メートル級先端屈折式のはしご車を寄贈するなど、多額の私財を寄附をされ市政の発展に大きく貢献されています。

林 元夫（はやし もとお）

平成4年10月から現在に至るまで約30年間の永きにわたり、廃棄物減量等推進員の前身である衛生区長を務められたのを始め、廃棄物減量等推進員会議副会長、会長を歴任され、その職務に精励し、本市のごみ減量と資源化の推進に大きく貢献されています。

茂木 康男（もぎ やすお）

野田市の人口が12万人達したことを受け計画された市の12万本植樹事業を推進するため平成9年に組織されたみどりのふるさとづくり実行委員会において、創設以来28年間会長として活動されており、豊かなみどりと調和したまちづくりの推進に大きく貢献されています。



野田市制施行 75 周年記念事業

市主催事業など 29 事業を実施していきます。主な事業を紹介します。 記念事業 HP
※詳細は市報のだやホームページ等でお知らせしていきます。



75 特別ラッピング「幸運を呼ぶまめバス」の運行

特別なカラーデザインでラッピングしたまめバスを限定運行しています。このまめバスを見た人には幸運が訪れる「幸運を呼ぶまめバス」として市内外に発信していきます。

75 オリジナルまめバスチョコQの製作・販売（配布）

市制施行 75 周年を記念して、まめバスのオリジナルチョコQを製作し、市役所や市内の店舗等で限定販売します。販売開始時期は、市報、ホームページ等でお知らせします。

75 ギネス世界記録挑戦事業

市制施行 75 周年を記念して、子どもから大人まで多くの市民の方に参加いただき、8時間で50メートルリレーを走った最多人数の世界記録への挑戦をします。（12月頃開催予定）

75 「のだ市民のど自慢」の開催

健康スポーツ文化都市として、歌を通じて「更に健康になっていただく」「元気になっていただく」「人と人との交流を深めていただく」ことを目的に、野田ガスホール（文化会館）で「のだ市民のど自慢」を開催します。（令和8年2月開催予定）



75 野田アウトドアスポーツフェスタ2025

野田市の豊かな自然環境や河川空間の魅力を広くPRしていくため、サイクリングイベント「せきやどチャリログ」やカヌーイベント「カヌー体験」、スカイスポーツイベント「熱気球まつり」の3つのアウトドアイベントを同時開催します。（閑宿にこにこ水辺公園周辺で9月下旬開催予定）



75 「戦後80年と鈴木貫太郎」企画

市の偉人である終戦時内閣総理大臣の鈴木貫太郎の功績を多くの市民に知っていただくため、貫太郎の孫の鈴木道子氏を招き、講演会の開催に併せ、映画「日本のいちばん長い日」を野田ガスホール（文化会館）で上映します。（8月下旬開催予定）

また、市役所1階ふれあいギャラリーで鈴木貫太郎記念館所蔵資料を展示します。

1950-2025

NODACITY 75TH ANNIVERSARY

野田市制施行75周年記念式典

野田市PR大使

野田市の魅力を広く発信し、本市のイメージアップ及び観光の振興並びに市民の郷土への愛着の高揚を図るため野田市にゆかりのあるお二人にPR大使を委嘱させていただきました。



落語家

春風亭一之輔（しゅんぶうていいちのすけ）

昭和53年1月28日生まれ

中央小学校、第二中学校卒

平成13年に春風亭一朝に入門、平成24年に真打に昇進



歌舞伎俳優

四代目 市川九團次（いちかわくだんじ）

昭和47年4月4日生まれ

木間ヶ瀬小学校、木間ヶ瀬中学校卒

平成26年に市川海老蔵（現・團十郎）門下となり、翌年四代目市川九團次を襲名

市制施行75周年記念ロゴマーク



令和7年5月3日に75周年を迎える野田市。

ロゴマークのテーマは「夢」。

カラフルな配色は、夢や希望によって人々の生活が豊かになると、健康やスポーツ、文化の発展につながると考え、これからの野田の豊かな繁栄と発展をイメージし作成しました。



ロゴマーク
申請ページ

野田市歌

作詞 香取佳津見

作曲 古関 裕而

野田市は、昭和25年5月3日に県下8番目の市として市制を施行しました。その記念行事のひとつとして市歌を作ることが決まり、歌詞を県民から公募したところ、254名の応募があり、審査を経て、香取佳津見氏の作品が1等となり歌詞が決定しました。その後、古関裕而氏により曲が作られ、11月2日に興風会館大講堂において、野田市主催、野田地方文化団体協議会後援、野田洋楽会賛助による「市歌発表音楽会」が開催され、野田市歌が市民の前に披露され、11月3日に制定されました。

野田市歌

野田市選定
香取佳津見 作詞
古関 裕而 作曲
(昭和25年11月3日制定)

Moderato
明るく力強く

おー 野田 市 へ いわ の ふる さと
おー 野田 市 き ばう の ふる さと
おー 野田 市 み しの ふる さと

け ん づ の か ね え た か な り は つ つ と
ばう ー 凡 意 の う た え は す み て り ゑう と
ひ と の わ は な え は は え み け ん ら ん と

あ す へ は ば たく そ の ち か ー ら つ ば さ と つ よ し
あ す へ の ひ ゑく そ の ほ こ ー り み そ と た か し
あ す へ さ か え る そ の す が ー た ひ か り と す が し

野田市歌は、野田地方文化団体協議会により、
この音楽会の開催を記念し、制定された市歌であることから、制定歴が長い。

平成16年2月1日発刊 編集・発行 野田市 日本音楽著作権協会(国)登録第0014378-301

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 一 | 二 | 三 |
| 朝風はここに香りて | むらさきの歴史はかがやき | 江戸川の流もさやかに |
| 街並はみどりに晴れゆく | 醸造のこだまはひびく | 新文化泉とあふるる |
| お、野田市平和のふるさと | お、野田市希望のふるさと | お、野田市民主のふるさと |
| 建設の鐘さえ高鳴り | 貿易の歌さえ弾みて | 人の和の花さえ微笑み |
| はつらつとあすへはばたく | 隆々とあすへ伸びゆく | 絢爛とあすへ栄える |
| その力つばさとつよし | その誇りみそらとたかし | その姿ひかりとすがし |

野田市歌 HP



野田市民憲章

昭和55年5月3日制定

- 1 郷土の自然を愛し、平和で安全な環境を守ります。
- 2 たがいに助け合い、すべての市民の幸福を願います。
- 3 からだをきたえ、仕事に励み、楽しい家庭をつくります。
- 4 きまりを守り、信頼と愛情を深め、心豊かな社会を築きます。
- 5 教養と文化を高め、自由と希望に満ちた郷土をめざします。

協賛企業

五十音順、敬称略

キッコーマン株式会社
キノエネ醤油株式会社
窪田味噌醤油株式会社
グリコマニユファクチャリングジャパン株式会社千葉工場
敷島製パン株式会社パスコ利根工場
ちば東葛農業協同組合
株式会社ナカオサ
雪印メグミルク株式会社野田工場

 **野田市役所**
鶴奉7番地の1(04-7125-1111)
<https://www.city.noda.chiba.jp>

 **健康スポーツ文化都市**
～元気で明るい家庭を築けるまち～